

防災だより

郡山市緑ヶ丘地区防災連絡協議会	
発行日	令和2年9月8日
発行No	R02-01
発行責任者	鈴木 忠好
編集責任者	渡邊 進

1. 今年の防災訓練について

「新しい生活様式の防災活動」について、地域役員を対象に学習します。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年の防災訓練は単純に中止せず、新しい生活様式に沿った「自助・共助・公助」のうち地域における防災活動の要点を、地域主要各種団体の役員や防災活動協力者の方に、防災危機専門官を招き、防災講座を開催いたします。

学習対象者は、町内会長、防災連絡協議会理事、民生・児童委員は全員、その他、主要各種団体の各役員代表者数名を対象といたします。

講座開催会場のふれあいセンター集会室は、一度の集会収容数が30名のため、二つの班に区分して行います。耐震性貯水槽操作訓練は、新型コロナウイルス感染の危険性や衛生管理の課題があり、中止します。

◆開催日時：令和2年10月18日（日）9時～12時

◆主催：緑ヶ丘地区「自主防災会」＝町内会連合会

◆企画：緑ヶ丘地区防災連絡協議会

◆開催場所：緑ヶ丘ふれあいセンター

◆活動内容：（1）防災講座：こんなときどうする、災害から身を守るために
講師：防災危機管理課、防災危機専門官 齋藤 茂 氏

（2）初期消火訓練・・・場所を広く使い、消防団の指導により行います。

2. 防災は！一人ひとりの備えから 《Part 2》

今回は、住宅付帯設備や家電製品の老朽化や、テレビ、冷蔵庫のコンセントにホコリがたまり、火災発生リスクが高い、住宅用火災警報器、消火器設置の有効性についてお知らせしました。

新型コロナウイルス感染拡大防止による自粛要請により、ホームセンターには買い物客が殺到。

今回の台風10号接近に備えて、飲料水、カセットコンロ、懐中電灯、ブルーシート等を求めてホームセンターに駆けつけたが、品切れで、追加販売を待つ状況が報道されました。

気象環境の変化により、自然災害のリスクが高まっております、緑ヶ丘地域であっても、安心せずに、非常時の飲料水、非常食、カセットコンロ、懐中電灯、乾電池等、各家庭で日常生活品を備蓄されるよう、お勧めいたします。

背の高い庭木が強風で倒れたり、物入容器や屋外保管品が飛ばされ、通行の妨げや、通行人にけがを負わせたりしないよう、各家庭では、自己管理されるようお知らせいたします。

3. 避難行動要支援者登録の案内

防災連絡協議会では、令和2年度の避難行動要支援登録者一覧の対象者を住宅地図に書き込み担当町内会長・民生委員に配りました。非常時の支援に役立ていただきます。

高齢化に伴い登録者を募ると同時に、新しい生活様式に伴う避難所受け入れも、収容者数の制限により別避難所になる等、支援者や準備担当が大勢必要になり、その対応も課題です。

裏面、避難行動要支援者制度を掲載いたしますので、該当される方は、担当町内会長、民生委員、社会福祉協議会役員、防災協役員に相談してください。

4. 10月18日、献血活動実施『献血協力者大募集』申し込みは町内会長へ